

## 平成 31 年度事業計画

平成 27 年度から会員増強を最重点目標に掲げ、その達成に向けて全力で取り組んでまいりました。平成 31 年度は、取り組みを始めて 5 年目の節目となる年です。

シニアパートナー制度、頑張るシニア応援企業宣言、ゆめタウン・イオン内での PR ブース設置など、毎年新たな企画を立ち上げるにより会員拡大を続け、平成 30 年度も全シ協が進める会員 100 万人達成計画の年度別目標値である前年比 3.9%1,051 名の会員増を既に達成し、11 月末日現在で 1,059 名となりました。会員の平均年齢の上昇による退会会員の増加など、厳しい環境下にもかかわらず堅調に会員数は増加しており、市民へのシルバー事業の周知が進み、定着してきたことを実感できつつあります。

平成 31 年度は、会員数の目標としては中長期計画に合わせた 1091 名といたしますが、これは今の会員拡大の勢いを維持することにより比較的容易にクリアできるものと考えています。さらに平成 31 年度は、坂本町をモデル地区として、会員拡大と事業拡大、加えて高齢化が急速に進む地域の福祉向上を目的とした新たなプロジェクト「プラチナネットワーク」を立ち上げる計画です。これが成功すれば、会員数が一気に 1300 名超へと拡大すると同時に、センターの存在感とシルバー人材センター事業の重要性を行政並びに地域社会にアピールできるものと強い期待感を持っています。

事業面においては、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を中心に、5 パーセント増の 4 億 4000 万円を目標として積極的な事業展開を図ってまいります。併せて適正就業への取り組みを強化すると共に、消費税法改正によるインボイス制度の導入や労働基準法等の改正に伴う有給休暇の付与、無期転換ルールへの対応、安全衛生委員会等の整備等、各種法律との関わりを精査し、適正な事業運営に努めるとともに、熊本県シルバー人材センター連合会と情報交換を密にしながら、スピーディかつ適切な対応をしてまいります。

また、NRI 情報システムの受付タッチパネルを導入し、センター内だけでなく、市役所等の公共機関にいても仕事の情報を得ることができるシステムを導入いたします。これにより、シルバー人材センターの事業内容を広く周知し、会員拡大、事業拡大につなげていきたいと思っております。

平成 30 年度で補助期間が終了する空き家・空地管理ワンストップサービス事業は会員による自主運営に移行し、継続していきたいと思っております。

入会説明会用 DVD 制作事業は、全国的に当センターが入会説明会用 DVD を制作していることの周知が進んでおり、県連合単位での発注も増えてきています。本事業によって、画像処理やナレーションなどの専門分野を担当する会員

だけでなく、撮影会など多くの会員が就業できる機会も増えてきており、さらに受注を増やすことにより、未就業の会員にも就業機会を提供していきたいと考えています。

平家味噌事業は最高の品質と味を確保しながら生産を継続していますが、販売量が減少傾向にあり、今後売り上げの向上を図ってまいります。

子育て支援事業は熊本県シルバー人材センター連合会が主催する高齢者活躍人材育成事業の保育補助講座を受講して入会した会員と、就業開拓専門員が開拓・受注した保育園とのマッチングを行うというビジネスモデルの成功例となりました。保育園への派遣開始から2年を経過しようとしておりますが、会員の誠実な仕事ぶりと折からの人手不足を追い風に堅調な実績を上げており、派遣事業の実績に大きく貢献しています。3年目となる平成31年度はさらに大きな飛躍を目指して益々の事業拡大を図ってまいります。

また、シルバーワークプラザ内に設置している託児施設「シルバー愛ちゃん」での子どもの一時預かり、毎週火曜日に「シルバー愛ちゃん」を開放する親子の遊び場、市内の幼稚園に出張しての絵本の読み聞かせなど、子育て事業を通じてセンターのイメージアップにも尽力していきたいと思っております。

高齢者トータルアシストプランは、安定したニーズがあり、超高齢社会における地域の重要な業務として定着しつつあります。収支バランスも安定しており、平成31年度もワンコインながいきサポートと併せて、従来どおり継続して事業を実施してまいります。

## 1.基本方針

- (1) 「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員主導によりシルバー人材センター事業の普及啓発活動を推進し、事業の適正化と拡充を図る。
- (2) 定期的に未就業会員の状況把握を行い、スキルアップ講習と就業開拓を同時に進め、また新たな事業を創設すること等によってマッチングを進める。
- (3) 安全対策を強化し、事故の撲滅を図る。
- (4) 事業拡大により、財政基盤の確保を図る。
- (5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を柱として、適正就業の推進を図りながら会員の就業の場の確保を図る。
- (6) 新規会員の入会促進と退会会員の抑制により、大幅な会員の増強を図る。

## 2.実施計画

- (1) 広報活動  
イ、会報「シルバー八代」を発行する。  
ロ、市広報にセンターの広報記事を掲載する。

- ハ、シルバー人材センター普及啓発促進行事を実施する。
- ニ、関係機関と連携し、シルバー人材センター事業の普及啓発と就業開拓を積極的に行う。
- ホ、ホームページを利用して普及啓発を図る。
- ヘ、FMやつしろラジオCM、新聞折込チラシ、市広報広告等を利用して各種事業の普及啓発を図る。
- ト、フリーペーパーに広告を掲載する。

## (2) 事業

- イ、 会員数 1,091 人、契約額 4 億 4,000 万円（請負・委任事業 3 億 9,000 万円、派遣事業 5,000 万円）、就業延人員 101,000 人日（派遣契約を含む）、を目標として、会員に適した仕事の開拓を図る。
- ロ、高齢者活用・現役世代サポート事業を活用し、事業の拡大を図る。
- ハ 未就業者の定期的把握と職員間の情報の共有により、公平な仕事の配分を推進する。
- ニ、プラチナネットワーク事業を立ち上げ、地域貢献と会員拡大を図る。
- ホ、事業拡大と経費節減に取り組み、安定的な自主財源の確保を図る。
- ヘ、シニアパートナー制度等を活用し、会員の大幅な増強を図る。
- ト、受付タッチパネルを導入し、会員や一般の高齢者に就業情報を提供する。

## (3) 研修・厚生

- イ、 職員の研修を実施する。
- ロ、 新入会員等の研修を実施する。
- ハ、 会員の就業機会の拡大を図るために必要な技能講習を実施する。
- ニ、 派遣事業に就業する会員の健康診断を実施する。
- ホ、 会員の資質向上を図り、より良いサービスの提供と就業拡大のために、マナー全般に関する講習会を実施する。

## (4) 安全対策

- イ、 事故ゼロを目標に会員の安全就業を図る。
- ロ、 会員から事故報告書の提出を受け、会員個々の安全意識の高揚を図る。
- ハ、 安全就業推進員をおき、安全指導の徹底を図る。
- ニ、 安全だよりを発行し、情報の提供を行う。
- ホ、 安全就業を徹底するため次の計画を実施する。

計画内容	実施計画
安全指導パトロール	6 回

安全大会	1回
交通安全講習会	1回

へ、車両運転業務における安全管理を強化する。

(5) 職業紹介事業

- イ、 有料職業紹介事業を行う。
- ロ、 仕事ネットに参加する。